



出身中学校ごとの記念撮影に臨む新成人たち

大人への第一歩 華やかに

平成27年度 花巻市成人式

「平成27年度花巻市成人式」が1月9日、文化会館で開かれ、新成人が大人としての第一歩を踏み出しました。

本年度成人を迎えた968人のうち832人が出席。華やかな振り袖やかま、スーツに身を包んだ新成人たちは、旧友との再会を喜んだり、思い出話に花を咲かせたりしました。

新成人の小林直人さん(花巻北中出身)は「今までいろいろな人に支えてもらった。その感謝の気持ちを忘れずにいたい」と、成人としての決意を新たにしていました。

かるたで育む郷土愛

田瀬地区の文化や自然題材に

「第22回田瀬ふるさとカルタ取り大会」が1月11日、旧田瀬小学校体育館で開かれました。

「田瀬ふるさとカルタ」は、旧田瀬小学校創立20周年記念として平成6年に製作されたもの。子どもから大人まで約50人の参加者は、郷土が誇る文化や自然、建物が描かれたかるたに親しみながら、素早い動きで札の取り合いを楽しみました。

菊池海輝さん(東和小6年)は「近くにある建物などが上手に描かれていて、かるたの絵も楽しめた」と笑顔を見せていました。



古里を題材とした絵札を取り合う子どもたち

元気な舞で福の神呼び込む

南万丁目かせ踊り

1月10日、南万丁目地区区内で小正月行事「南万丁目かせ踊り」が行われました。これは、その年の五穀豊穡と無病息災を願う古くから地区で行われてきた伝統行事です。

当日は、南万丁目かせ踊り保存会会員と小学生、保護者など約50人が参加。雷神社を参拝後、宮沢賢治ゆかりの「湧水と座禅の石碑」前で「雪中田植え」を再現しました。

雪景色の中、子どもたちは元気な舞を披露しながら地区内の民家や福祉施設を半日かけて巡り、みんなのこし一年の健康と多幸を祈願しました。



色鮮やかな衣装を身に着け神社で舞を奉納する子どもたち

花巻市成人式

新成人たちが 記念行事を開催

1月9日に開かれた花巻市成人式は、式典と記念行事の2部構成で進行しました。

このうち、記念行事の部は、新成人と来年度に成人を迎える皆さんで構成する「成人式記念行事実行委員会」が企画・運営を行いました。

『めばえ～夢の種を未来の花へ～』をテーマに「過去を振り返り、感謝を伝え、未来への決意を新たに」催しを実施。▶新成人が市内各中学校のジャージーを着て踊る姿を放映する「ジャージファッションショー」▶成人となって家族などに伝えたいことを大声で発表する「成人の主張」▶思い出の写真とともに感謝・夢を語る「Thanks&Dream」のほか、恩師や地域の皆さんからの激励メッセージの紹介も行われ、スクリーンに映し出される懐かしい顔に歓声が上がりました。

■問い合わせ 本庁生涯学習交流課(☎24-2111内線419)



①「Thanks&Dream」で感謝の思いと夢を語る新成人②ジャージ姿の新成人が思いを発表した「成人の主張」③スムーズな司会進行を務めた委員

■ Interview

委員全員の思いがこもった記念行事

私たち実行委員40人は、9月から記念行事の準備を進めてきました。思いや意見を重ね合いながら、自分たちらしい記念行事をつくり上げることができました。

緊張の中、当日を迎えましたが、会場は大盛り上がりとなり、一生に一度の記念行事を演出できたと思います。



成人式記念行事実行委員長 千葉 拓海さん

身近にできるボランティア

献血にご協力をお願いします

寒い季節になると、体調を崩したり、外出を控えたりする人が多くなり、献血者が減少する傾向にあります。

献血は最も身近なボランティア。あなたのわずかな時間で、救える命があります。

■ 献血の必要性

血液は生きて細胞であるため、長期の保存ができず、人工的に作ることもできません。病いやけがなどの治療に必要な血液を確保するために、献血は欠かせません。

■ 献血の「いま」

少子高齢化が進む日本では、輸血を必要とする高齢者が増加し、献血に協力する若い世代が減少しています。

10〜20代の献血者は10年間で約3割も減少しており、少子高齢化が今後ますます進んでいくと、血液の安定供給が難しくなるかもしれません。そうならないためにも、若い世代の献血への理解と協力が必要となります。

病いやけがで血液が必要な人のために、献血にご協力をお願いします。

ボランティア献血にご協力を

日時 2月7日(日)、①午前10時〜正午②午後1時30分〜4時30分

会場 銀河モール花巻

※記念品を差し上げます

「問い合わせ」健康づくり課
(☎23-3121)

